

有限会社東亜染芸

最新型水引製造設備導入による生産性の向上と 高品質製品供給の実現

取引先の増産要請、ニーズの多様化に対応するため最新型水引製造設備を導入し、水引紐の量産と機械化・内製化による短納期化および海外製品と差別化した高品質な製品供給を実現した。これにより、日本の水引伝統産業の下支えを可能にするとともに、製造環境を改善し雇用促進に取り組む。

事業取組みの経緯

水引製品（主に金封祝儀用品等）に使用される水引（和紙をこより状にした紙紐を染色コーティングしたもの）を100%国産材料にこだわって、30年超にわたり製造している。

水引製品は、機械化・自動化が困難な労働集約的なものであるため、大手企業が参入しにくいニッチ市場として事業を継続してきたが、近年冠婚葬祭の簡素化や人口減少、また安価な海外製品の進出等で需要が減少している。そうした中、当社では、流通業界の再編成や、食品関連、手芸業界等新たな市場における水引利用機会の高まりから受注数量が増加しているが、現状の製造設備は老朽化、従業員の高齢化による退職等の要員不足の状況から受注に対応できない状況となった。そのため、機械化・内製化による量産・短納期化と品質の向上を図るべく、最新型の水引製造設備の導入を計画した。

実施内容

自社カスタマイズによる、最新型水引製造設備を導入した。

これまで、①ロール状の紙紐125本を機械へ流す→②糊付け乾燥→③染色乾燥→④コーティング乾燥→⑤裁断→⑥手作業での整頓の工程であったが、最新型水引製造設備では、⑤裁断の前に手作業で実施していた「収束シール接着」を自動化した。

水引製造工程〔うち染色コーティング工程〕



①ロール状の紙紐
125本を機械へ流す

②糊付け乾燥

③染色乾燥



④コーティング乾燥

○集束シール接着
事業で自動化した工程

⑤裁断

事業取組みの成果

①大幅なロスの軽減

赤白水引30cmから240cmの長尺まで段替え時1ロスのみで切替え可能。（以前は、平均20分かかり、多数のロス水引も出ていた。）

②人員削減に成功

1フロア3人→2人、技術や経験がなくとも品質安定。さらに中付け（シール収束）専門人員が不要。

③納期短縮や大量注文に対応

出来高が数字（1日〇本）で現れるため計画が容易。（以前は、中付け専門人員頼みだった。）

④内製化への取り組み

120cm以上の水引は中付けを外注加工していたが、90%以上を内製化でき、品質安定に貢献。

今後の活動予定

1. 新製造設備導入当初は、旧製造装置との違いに戸惑うこともあり、薬品の分量等の調整作業が多かった。現在は、安定稼働となったことから、今後は受注前の下準備を行い、季節需要を見込んで計画生産を行い、生産効率化と受注量の拡大に取り組む。

2. 新製造設備導入により高品質製品の供給が可能と見ており、全国でも製造する業者が少ない「金赤水引」の製造に着手したい。同製品は、神社のお札や門松等で需要が多く、製造が可能となれば、受注の底上げに大きく寄与することができる。

有限会社東亜染芸

- 代表者／代表取締役 柴垣 一志
- 本社住所／〒799-0111 愛媛県四国中央市金生町下分662-1
- TEL／0896-58-4206 ■FAX／0896-58-4295
- URL／<http://toa-sengei.com/>
- 設立年月日／昭和54年11月
- 資本金額／1,000万円
- 従業員数／6名
- 業 種／水引製品製造・販売
- 事業拠点／本社工場 愛媛県四国中央市金生町下分662-1

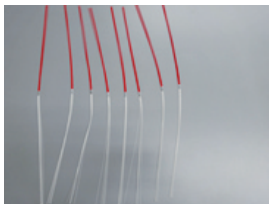
企業概要

各種水引製品の製造・販売を行っている。金封や結納、正月飾りといった晴れの日が中心だった水引は、近年では魅力的で使いやすい素材の一つとして全く新しい身近な分野へと広がっており、当社では、この潮流に先んじて、より繊細で表情豊かな水引を多数開発している。顧客の製品づくりに品質、色相、質感、耐久性の何れにおいても最適な素材であるよう技術の向上に努め、顧客が創造したい水引の世界にインスピレーションを付与できる会社でありたいと考えている。

主要取引先

今村紙工、大西水引、木下水引、神明堂

主要商品



各種水引製品
・紅白水引



・パール色・ラメ入り水引
(愛媛すごモノ認定商品)

主要設備

水引製造ライン

担当者	代表取締役 柴垣 一志
連絡先	0896-58-4206
連絡先E-mail	kazu@shikoku.tank.jp